

## <仙田 満 (せんだ みつる) 略歴>

環境建築家・環境デザイン研究所会長

1941 年横浜生まれ。1964 年東京工業大学卒。工学博士。菊竹清訓建築設計事務所を経て、1968 年環境デザイン研究所を設立。琉球大学・名古屋工業大学・東京工業大学・放送大学教授、日本建築学会会長、日本建築家協会会長、日本学術会議会員（第 20・21 期）・連携会員（第 22・23 期）、こども環境学会会長を歴任。現在、東京工業大学名誉教授、こども環境学会代表理事。

代表作品：東京辰巳国際水泳場、常滑体育館、茨城県自然博物館、愛知県児童総合センター、兵庫県但馬ドーム、京都アクアリーナ、海南省海口市万ぱく公園、御所野縄文博物館、ゆうゆうのもりこども園、慶應義塾日吉キャンパス協生館、中国上海市旗忠森林体育城テニスセンター、広東省佛山市総合体育館、国際教養大学図書館棟、広島市民球場(マツダスタジアム)、南小国町役場、長野県立武道館、軽井沢風越学園、小田原三の丸ホール、石川県立図書館、エディオンピースウィング広島。

著書：「子どもとあそび」（岩波書店）、「Design of Children's Play Environment」（N. Y. McGraw-Hill 社）、「環境デザインの方法」（彰国社）、「環境デザインの展開」（鹿島出版会）、「21 世紀建築の展望」（丸善）、「環築」（中国建築工業出版社）、「元気が育つ家づくり」（岩波書店）、「環境デザイン講義」（彰国社）、「こどものあそび環境」（鹿島出版会）、「環境デザイン論」「都市環境デザイン論」（放送大学教育振興会）、「SENDA MAN 1000」（美術出版社）、「こどもの庭」（世界文化社）、「人が集まる建築」（講談社）、「こどもを育む環境 蝕む環境」（朝日新聞出版）、「遊環構造デザイン」（左右社）等。

受賞：毎日デザイン賞（1978 年）、国際安全学会賞（論文）（1987 年）、BCS 賞（1987、2011 年）、日本建築学会霞ヶ関ビル記念賞（研究）（1993 年）、日本造園学会作品賞（1996 年）、日本建築学会作品賞（1997 年）、IAKS（国際スポーツ施設協会）金賞（2001、2011 年）銀賞（1997、2005、2009 年）、IAA（国際建築アカデミー）グランプリ（2003 年）、国際建築賞（2007、2008、2010 年）、日本建築家協会賞（2010、2011 年）、アルカシア建築賞ゴールドメダル（2010 年）、村野藤吾賞（2011 年）、日本建築学会大賞（2013 年）、日本建築学会著作賞（2019 年）他、多数。